金ケ崎周辺整備構想における「人道の港敦賀ムゼウム」機能拡充に係る基本計画　検討の流れ

金ケ崎周辺施設整備計画策定委員会等

第1回委員会（分科会合同・5月22日開催）

ムゼウム機能拡充検討部会

1. 周辺地区・施設概要等
- 金ケ崎地区・ムゼウムの概要（施設概要・主な活動内容・運営状況・入館者の状況・収支等）

鉄道遺産保存活用検討部会

2. 課題分析
- 金ケ崎周辺・ムゼウムの強み・弱み分析
- 敦賀市の現況、社会情勢等の分析・課題整理

ムゼウム機能拡充検討部会（7/20）　鉄道遺産保存活用検討部会（7/20）

第2回委員会（8月21日開催）

1. 方向性・施設像（骨子）
- 事業の目的・理念の検討
- 事業の方針・構成
- 管理運営のあり方
- 求められる機能構成

2. 必要な設備等の検討①
- 事業活動に必要な機能・規模の検討
- ゾーニング案

ムゼウム機能拡充検討部会（9月中旬頃）　鉄道遺産保存活用検討部会（9月中旬頃）

第3回委員会（10 月開催予定）

1. 計画（素案）の検討
- 理念・新展開の方向性の承認（事務局案）
- 事業活動、管理運営方針の検討（事務局案）

2. 必要な設備等の検討②
- 事業活動に必要な機能・規模の確定
- ゾーニング・意匠・展示構成等の検討

ムゼウム機能拡充検討部会（12月頃）　鉄道遺産保存活用検討部会（12月頃）

第4回委員会（1月開催予定）

1. 計画（案）の検討・承認
- 計画（事務局案）の検討（事業・管理運営・機能）
- 事務局案の承認（条件付きでも）

2. 今後の進捗確認
- 今年度、来年度以降の事業推進計画の確認

事務局協議

- 第4回で多くの課題・修正事項等があった場合は、各委員へ成果物報告
- パブリックコメントの意見を反映して各委員に報告
- 市長へ基本計画を手交

基本計画等策定支援業務　成果物の構成（案）

1章. 現況・課題整理

1. 現況
- 金ケ崎周辺地区の概要（歴史・立地条件等）
- 現ムゼウムの経緯（設立・事業・利用者数の推移等）

2. 課題
- 金ケ崎周辺・現ムゼウムの強み・弱み分析
- 敦賀市の課題・近年の社会情勢の変化

2章. 基本方針

1. 基本的な考え方
- 整備事業の目的
- 事業の理念・方向性

2. 事業方針
- 事業の方針・全体構成
- 運営のあり方（民間活力の導入）

3. 基本的な機能
- 外構の整備方針・施設構成
- 新ムゼウムの機能構成

3章. 事業計画

1. 事業展開の基本的な考え方
- 人道の道ブランドの確立・拡充
- 利用性・話題性が高い事業展開

2. 収集保存・調査研究事業
- 近現代の敦賀（港湾・鉄道）の資料・情報の収集保存・調査研究

3. 教育普及・啓発事業
- 生涯学習・教育旅行・インバウンド向け等、多彩なプログラムの提供

4. 展示事業
- 展示展開方針・テーマ・構成
- 屋内外の主要な展示コンテンツ

5. 交流・サービス事業
- 広報・情報発信力の強化
- 地域連携・広域連携を強化

6. 事業評価の考え方
- 定量評価（入館者数・収支等）と定性評価（地域への貢献等）

4章. 機能計画

1. 展示計画
- 事業展開に必要な展示機能
- 屋内外の主要なコンテンツ検討
- 想定イメージのスケッチ等

2. 施設計画
- 機能構成・ゾーニング構成
- 意匠検討・規模設定
- 想定イメージのスケッチ等

3. 敷地・外構計画
- 必要な機能・ゾーニング構成
- 検討する機能の規模設定
- イメージスケッチ等

5章. 管理運営計画

1. 管理運営方式
- 直営方式・一部委託・指定管理方式（民間委託）の比較検討

2. 組織・人材
- 組織・人員配置
- 地域住民や諸機関との連携方策

3. 収支計画
- 収支のシミュレーション
- 課題整理

6章. 事業推進計画

1. 事業スケジュール
- 実現のための事業構築・設計・工事（製作）工程
- 供用開始後の中長期的なスケジュールの考え方

2. 事業予算
- 新築・造成等に伴う設計費・工事費
- 事業活動に必要な諸経費（開館準備費含む）等

7. 基礎資料

1. 参考事例調査
- 類似テーマに拠らず、活動や集客等に参考となる施設の概要

2. 事業予算資料
- 展示・建築・外構等、予算算出の根拠資料、必要に応じて明細

3. 検討経過
- 委員会検討・庁内協議等の経過をとりまとめ

時期

4月
8月
9月
1月
2月
3月